

Coucou

サマンサグループ 社内報 [コウコウ]



サマンサグループ

Samansa HLDGS

Samansa Japan

MIRAI JAPAN

山口パトロール警備

Samansa HLDGS

Samansa Japan
サマンサジャパン株式会社

本社 〒745-0845 周南市河東町 2-36 PHONE (0834) 32-1188 FAX (0834) 31-5956
福岡・別府・山口・徳山・岩国・広島・福山・岡山・神戸・鈴鹿・春日井・三河・長野・諏訪・神奈川・浜松・チクノサービス
<http://www.samansa.co.jp> Email info@samansa.co.jp

MIRAI JAPAN
株式会社ミライジャパン

〒750-0066 下関市東大和町2丁目13番1号
TEL (083) 267-6161 FAX (083) 267-6163
<http://www.mirai-japan.jp/>

山口県JAビル本館勤務

伊藤 敏英 さん



高齢の母は料理が大好きで、長年家族のために腕を振るってくれました。その母の姿を見るたびに感謝と尊敬の念が湧いてきます。

最近では母も体力が衰え、料理をする機会が減りましたがそれでも台所に立つときの母の目は輝いています。

そこで私は母への親孝行として一緒に料理を作る時間を増やすことにしました。母の得意料理を教えてもらいながら作る過程は、まるで思い出を再確認する旅の様です。たとえば母直伝の肉じゃが

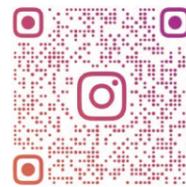
は、家族全員が大好きな味で、その作り方を学ぶことで母の知恵や工夫を受け継いでいる様な気がします。また新しい料理にも一緒に挑戦し、成功すれば喜び、失敗しても笑い話になります。

母と過ごすこれらの時間は、料理を通じて心を通わせる大切なひとときです。母に少しでも恩返しができ、同時に私自身も多くのことを学んでいます。これからも母が笑顔でいられる様に親孝行を続けていきたいと思っています。

Coucou

サマンサジャパンの人づくりは親孝行の実践から始まります。その親孝行の「孝行」をCOUCOUとローマ字にしました。フランス語では「ククー」と読み、親しい間柄で「こんにちは!」や「やっほー」という使い方をします。

バックナンバー



SAMANSAJAPAN.OFFICIAL



Samansa Japan 社会医療法人財団白十字会
導入サービス **白十字リハビリテーション病院** 様【クラブ清掃・営繕】 02
 病院長 阪元 政三郎 様

お客様紹介 30年にわたる地域課題解決への挑戦
第13回赤ひげ大賞受賞 06
 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 名誉院長 早川富博 様

育成研修 **人間力向上研修 大切なのは「人間力」** 08

業務紹介 **「ともに働き、ともに支え合う障がい者雇用の現場から」** 10

MIRAI JAPAN
事業発展計画 **みらいジャパン 第17期(45期) 事業発展計画発表会**
山口パトロール警備 第50期

【第1部】 12

サマンサグループ発展計画 総括
 サマンサホールディングス(株) 小野 英輔 CEO

今期戦略 代表取締役専務 山田 博

社員代表決意表明 社員代表 福田 真功

【第2部】講演会 13

「生きる喜び」 下関市社会福祉協議会会長 児玉 典彦 様

【第3部】社員ふれあい会 14

開会の挨拶 株式会社西京銀行下関支店副支店長 坂本 喜仁 様

閉会の挨拶 林兼産業株式会社 元社長 外部顧問 熊山 忠和 様

永年勤続表彰

Samansa Japan
業務紹介 **医療の「質」を支える、サマンサの協働力**
 当社サービスの導入イメージ/病院様Ver. 16

表紙 写真：みらいジャパン第17期(45期) 山口パトロール警備第50期 事業発展計画発表会

裏表紙 **親孝行** 山口県JAビル本館勤務 伊藤 敏英 さん

お客様と共に歩んだ32年

信頼のSQCパフォーマンスコンテスト

サマンサジャパン株式会社

常務取締役 **野坂 泰行**

32年前に『サマンサクラブパフォーマンスコンテスト』という名称でスタートした当初は、清掃技術を社内ですら相互研鑽を目的とする活動でした。そこからサマンサ独自の清掃システム『サマンサクラブ』が注目を集め、社名を現在の「サマンサジャパン株式会社」へと変更しました。パフォーマンスへお客様をお招きし、私たちの思いや進むべき方向性を表現する舞台となったのも、この頃からです。パフォーマンスの歩みを振り返ることは、会社の成長の歴史を知ることでもあります。

当初は山口・広島・福岡といった中国・九州地方が中心の会社でしたが、その後、東海(三重・愛知・岐阜)、関西(兵庫・大阪・奈良・京都)、関東(東京・神奈川)、北陸(長野)へと広が

りを見せてきました。これもひとえに素晴らしいお客様に支えていただいたこと、そして理念を実践し続けてこられた諸先輩方のおかげです。改めて深く感謝申し上げます。

私たちは、先人たちから引き継いだサマンサジャパンを、さらに良い会社にしていくために、今まで以上に努力して参ります。そして、お客様から、地域社会から、日本から、絶対に必要とされる会社になることを、本気で目指してまいります。

SQCパフォーマンスコンテストを通じて、サマンサジャパンの歩みと未来への思いをお届けできれば幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

10月
31日
(金)

第32回
SQCパフォーマンスコンテスト

クラブ清掃・営繕

社会医療法人財団白十字会

白十字リハビリテーション病院様

「患者は家族」の想いを共に実践

導入サービス

- クラブ清掃
- 営繕



病院長
阪元 政三郎 様

救急医療から在宅生活まで、継ぎ目なく医療・介護を提供する「社会医療法人財団白十字会」様。急性期、回復、療養一体のケアミックス病院から5年前、急性期に特化した病院とリハビリに特化した病院に再編されました。脳卒中リハビリテーションや、入院生活に定評がある「白十字リハビリテーション病院」様でサマンサジャパンは「クラブ清掃」と、施設内の巡回点検や、車椅子の修理などを行う「営繕」でお手伝いをさせていただいています。

「患者は家族」と捉える病院長の理念のもと、患者様一人ひとりに寄り添うケアを実践している病院から、「運営に不可欠な存在」とのお言葉をいただきました。



看護部長
山崎 睦美 様

事務次長
林 賢太郎 様

病院の特徴について お教えてください。

医師、看護師、リハビリスタッフなど全ての職員が患者さんのために一つのチームになっているんなことが話し合える、垣根の低い風通しの良さが当病院の特徴です。皆で話し合いながら、患者さんだけでなく、そのご家族のためにも在宅復帰後の生活まで見据えた支援計画を策定しています。

サマンサジャパンを 知っていただいたきっかけは？

ちょうど2年前になります。清掃業者の見直しを検討してい



た際、プレゼンテーションの数日前にサマンサの営業担当の方がお見えになったのがきっかけです。本当にご縁があったのだと思います。

導入いただいて いかがでしょうか？

学ぶことが非常に多いです。清掃する姿勢もですが、挨拶一つにしても、委託会社の概念が変わりました。これまでは職員と委託会社で違いを感じることもありましたが、患者さんのため、そして職員のために一緒に頑張ってくださっています。仲間としての意識が芽生えてありがたいですね。

トラブルや相談事があってもすぐに動いてくださいますし、報告もすぐしてくれます。明るい挨拶や清掃に取り組む姿勢からは、患者さんやその家族も喜ぶ「相乗効果」が生まれています。あと、気づきもすいこ。

白十字リハビリテーション病院



病院の皆さまと

スタッフへのメッセージ

まず、一番最初に驚いたのが、新幹線口まで迎えに来ていたことです。そのおもてなしにびっくりしました。皆さんが発表した内容もとても感動的でした。

パフォーマンスコンテストにもお越しいただき、ありがとうございました。ございました。

ゴミ箱なんですが、患者さんが瓶を捨てると底に当たった時に強い音が鳴ってしまうことに気づいて、下にダンボールを敷いて音が小さくなる取り組みをしていたいただきました。ゴミ箱の消えかかっていた分別表示も患者さんに分かりやすく、綺麗なものに交換してくれました。サマンさんの気づきから生まれる行動で、病院側も患者さんにとって必要な改善を行う「QC活動」の重要性を再認識することができました。

具体的にスタッフはどんな点に気づいて行動していますか？

実際に車椅子に乗って「患者さんがどう見えているのか？」という視点から、どこを清掃するかを改善されていて素晴らしいです。本当に感激しました。



車椅子の点検をしています



新人スタッフと

スタッフコメント

サイトチーフ 寺田麻実さん
サマンサで働き始めて、自身の意見が持てるようになりました。チームをまとめる上で、ブレない軸を持つことを意識しています。

サイトリーダー 北川夕子さん
チームワークをすごく大事にしています。皆と一緒に話し合いながら、目標を現実できたときはやりがいを感じています。



2人から他スタッフへのメッセージ

いつも一生懸命業務に向き合っていて、皆には感謝しかありません。体にも気をつけて、これからも一緒に頑張りましょう！

サマンサジャパンについてお話をいただきました。

リハビリテーション部
理学療法課主任

中島雄基様

サマンサジャパンの皆様、いつも病院内を清潔で安心できる空間に保ってください本当にありがとうございます。皆様の明るい笑顔と元気な挨拶が、リハビリテーション病院に重要であり、病院の雰囲気をとて明るくしてくださっています。清掃という枠を超えて、病院の一員として患者さんに温かく関わってくださっている姿にいつも感謝を受けています。患者さんへの声掛けや気配りに、スタッフとして学ぶことも多くあります。これからもチームの一員としてより良い病院を目指し共に成長していきたいです。

林事務次長 — 事務部門の役割は診療をサポートしたり、患者さんの環境を良くすること。清掃や営繕も同じだと思っています。共通の目的を持つ仲間として、これからも頼りにしています。

山崎看護部長 — 「この病院で働けてよかった」と思ってもらえるような良い病院にしていきたいですね。お互いに高め合っていきたいと思います。

阪元病院長 — 笑顔で元氣よく挨拶してくれて、寄り添っていただくことに本当に感謝しています。今後も、お互いがますます元氣になるように、サマンサ側からも積極的に声をかけてもらえると嬉しいです。

赤ひげ賞



30年にわたる地域課題解決への挑戦

第13回赤ひげ大賞受賞

サマンサジャパンのお客様でもある「愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院」の早川富博名誉院長が2月、「日本医師会 赤ひげ大賞」を受賞されました。今号では早川名誉院長は何を想い、何に取り組んできたのか、その挑戦の歩みを紹介します。



約30年間にわたって、中山間地域を抱える医療・介護・生活の課題解決に取り組む。訪問診療からICT活用、さらに持続可能な事業モデル構築へと、今もその歩みは止まらない。



地域医療の革新と試行錯誤

訪問診療の移動時間という課題に対し、当時の郵政省の補助金でICTシステムを構築。テレビ電話による遠隔診療や、病院からの遠隔講演などを実施した。また、2000年頃には4町村合同で、ヘルパーなどの多職種が情報を共有できる電子カルテの先駆け「福祉カルテ」を開発。市町村の合併もあってそのシステムは中断したが、病院に電子カルテを導入し、関連施設との情報共有は今も継続している。

住民参加と連携の模索

住民のニーズを直接把握するため「三河の中山間地域で安心

して暮らし続けるための健康ネットワーク研究会」を設立。ICT関連の企業や行政、地域住民にも声をかけて100人ほどを集める。1万を超える大規模アンケートを実施した結果、医療や介護だけでなく、交通など生活インフラの課題が浮き彫りになった。

この結果を受け、2010年頃には救急時の情報共有と交通便利性向上を目指すICカード「あすけあいカード」を試行。

持続可能な地域モデルの構築

活動を通じて地域の根本的な課題が明らかになった。食料品やエネルギー費など、住民が使うお金の大部分は地域外へ流出。

地域内でお金が循環しないため、新たな雇用が生まれず、移住促進の妨げにもなっている。そこで、地域経済の流出を食い止めるため、電力の小売事業を考案。行政や電力会社の協力も得て、事業利益を地域活動に還元する仕組みを構築した。当初は住民の不信感もあったが、地域への奉仕活動を続けて信頼を獲得する。

活動を支える理念と姿勢

長年の活動の原動力は、一度始めたことを投げ出さない「良い意味での惰性」と、地域への愛情と責任感。今も地域の高齢者との座談会などで現場のニーズを吸い上げ、活動を継続している。80歳まで続けることを目標とし、体力維持のため週1〜2回のジム通いや豊田マラソンへの参加も欠かさない。



大切なのは「人間力」

社内でも社外でも、
「人間力向上」のための教育は
サマンサにお任せください

「人生100年時代」と言われる現代社会。AI（人工知能）がますます進化し、予測困難だといわれる今の時代、社会人として、そして、一人の人としてよりよく生きていく上で大切なものが、「人間力」。人としての魅力を磨き、明るく豊かに人生を生きていくために、これまで以上に「人間力向上教育」にスポットが当たっています。サマンサジャパンが行っている道徳を核とした「人間力向上研修」、今、社内だけでなく学校の先生方にも広がっています。



サイトチーフ・リーダーを 対象にした「人間力向上研修」

5月から始まった、「管理職や業務社員を対象にした「人間力向上研修」に加え、7月から8月にかけてすべてのサイトチーフ・リーダーを対象とした「人間力向上研修」が各地区で開催されました。



7月16日 岩国



8月4日 福岡



7月28日 徳山



8月27日 長野

学校の先生方の授業力と人間力の向上もサマンサにお任せ

子どもたちが夏休み期間の8月。先生方は、自分の教育スキルを磨き、子どもたちによりよい教育を提供できるよう研修を行っています。「教員の人財育成や学校の組織運営」についての校長先生方の研修や「道徳の授業づくり」についての先生方の研修など、様々な研修をサマンサジャパンでお手伝いしました。



8月1日(金)AM 山口県防府市小学校校長会

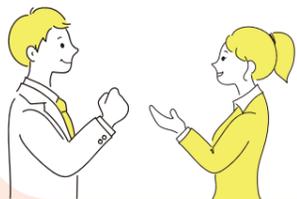


8月1日(金)PM 山口県防府市小学校教育研究会道徳部研修会



8月6日(水)PM 広島県江田島市立大柿中学校・大古小学校合同研修会

研修を通して、教員として授業力向上だけでなく、一人の人間として自分自身を見つめ「人間力」を高めることについてしっかりと考えていかれました。



サイトチーフ・リーダーに対する社内研修、学校の先生方に対する社外研修。どちらの研修においても、「自己の生き方を見つめ振り返る」内容が展開されました。どんなに仕事のスキルを磨いても、その人そのものに人としての魅力がなければ、大切な事柄は伝わっていきません。何をしても、人対人です。それは、業種業態を問わず、どんな仕事にも言えることではないでしょうか。「人間力を高める」ための研修。ご要望があれば、サマンサジャパンがお手伝いさせていただきます。

「ともに働き、ともに支え合う 障がい者雇用の現場から」



医療法人財団ヒューマンメディカル 尼崎新都心病院

村上さん

村上さんは長年、障がい児童のボランティア指導員として活動され、現在は知的障がいのある山田さんとマンツーマンで業務に取り組んでいます。

山田さんは最初こそ緊張していましたが、少しずつ出来ることが増え、笑顔も見せるようになりました。村上さんは「障がいがあるからと特別扱いするのではなく、焦らず、出来たことは必ず褒める。会話は肯定で終えることを意識しています」と語ります。

山田さんも「出勤したら電話で村上さんに連絡を入れています。仕事が難しくて行きたくない時もあるけど、村上さんがいてくれるから良かったです」と笑顔で話してくれました。

当社では「ともに働く仲間」として、障がいがある方々と現場のスタッフが力を合わせ、日々の業務に取り組んでいます。

お客様からご依頼いただく仕事は、一人では成し遂げられません。互いを思いやり、支え合う姿がそこにはあります。

社会医療法人社団十全会 心臓病センター 榊原病院

リーダー 中村さん

岡山では、仲間同士の協力体制がしっかりと根付いています。

「仕事が遅れている仲間のところには応援に行く。皆と同じように清掃手順が違っていたら声をかけて教える」と中村さん。

皮田さんも独り立ちし、任せられるようになった今、「出来ないところは他のスタッフに助けてもらいながら、なるべく自分でやるようにしています。今本当に仕事が楽しいです」と前向きに話します。

働く喜びを分かち合い、支え合う姿は、障がい者雇用という枠を超え、職場全体を温かく強くしています。



声掛けが 信頼関係

— 村上さん講演

現場取材の後日、サマンサジャパン本社に村上さんをお招きし、「障がいのある方との関係性の作り方」をテーマに講演をしていただきました。

長年ボランティア指導員を務める村上さんは、現場での経験をもとに、日々の業務における声掛けの重要性を強調されました。

仕事の終わりと始まりには必ずプラスの声かけをします。気持ちよく仕事を終えて帰ってもらい、次の日は気持ちよく仕事に来てもらうこと。

「あれ」「これ」「あそこ」といった曖昧な表現ではなく、名称を使って正確に伝えること。そして何よりも、気長に向き合う姿勢が信頼関係を築く基本であると語られました。

村上さんの講演は、現場での経験を振り返り、改めて「一人ひとりの成長を認め、支え合うことの大切さ」を社員に伝える機会となりました。

私たちも日々の声掛けやチームワークに活かし、より安心で温かい職場づくりを進めていきます。

みらいジヤパン第17期(45期) 山口パトロール警備第50期 事業発展計画発表会

第1部

株式会社みらいジヤパン第17期(45期)と、山口パトロール警備(株)第50期の事業発展計画発表会が9月12日、山口県下関市のシーモールパレスで開催され、今期の重点方針について確認しました。会場には新たにグループ会社となった山口パトロール警備株式会社や、サマンサジヤパン株式会社の野坂泰行常務取締役、保全産業株式会社の小野晃社長も駆けつけました。

「サマンサグループ」発展計画 総括

サマンサホールディングス(株) 小野英輔 CEO

小野代表は壇上から強い思いを語りました。まずは「会社は株主のものと言われるが、そうならないようにするために株式をホールディングスに集約して体制を整えた」と説明。その上で「経営理念を理解して実行することが大切」であること、「明るく豊かな人生を従業員に与え、社会に必要とされる企業でありたい。人間力を高め、世界から高く評価される人財を育てたい」と呼びかけました。そして、「失敗しても構わない。やるかやらないかと迷ったら、大変な方を選んで挑戦してほしい」と力を込め、「下関市で〇名指しでお客様から指名される〇ブームを起こしましょう」と求めました。

今期戦略

山田 博 代表取締役専務

続いて、山田専務の戦略発表は「前期は皆さんのおかげで、増収増益で終わることができました。本当にありがとうございます」と感謝を伝えることから始まりました。新たにグループに加わった山口パトロール警備の一人ひとりを紹介。企業理念に【安心・安全】の言葉が加わったことにも触れながら「主力は機械警備と施設警備。みらいジヤパンと共に警備業務を強化し、新しい業務を生み出していきたい」と展望を語りました。

また、「正しい価格で受注し、業界ナンバーワンの所得や賞与を目指して、皆さんの笑顔につなげたい」と宣言。「我々なら絶対にできる。売り物を磨く、働きを磨く、協力し合ってやっていきましょう」と呼びかけ、参加者を鼓舞しました。



社員代表決意表明

社員代表 福田真功 さん

社員代表では福田さんが登壇し、第17期に向けた決意を力強く読み上げました。理念実践と数値目標を掲げた覚悟を示す力強い表明で、会場内の空気が引き締められました。

1. 全従業員が企業理念を共有し行動します
1. 明るく元気で活力ある会社になります
1. お客様に感動・感激・感謝される商品づくりを目指します
1. 変化に対応できる行動力で進化し続けます
1. 売上高11億7600万、利益2億6100万を達成します



講演会 第2部

■ 演題 「生きる喜び」

下関市社会福祉協議会会長

児玉典彦 様



教職時代にガンを患った児玉様。人口喉頭器を使用しながら「生きる喜び」をテーマに語り、社員に深い気づきと勇気を与えました。

冒頭、「縁は神様が結ぶもの、絆は人が結ぶもの」と述べ、人と人のつながりの意味を説き

ます。さらに、自分以外の誰かのために戦っているアンパンマンを例に、「弱い存在でも誰かのために戦うから仲間が集まり、結果として強くなる」と説き、「何のために生まれて、何をしたいのか。誰かを幸せにするために頑張ることが大事」と強

調しました。ご自身のガンの闘病経験にも触れ、「声を失いかけた時、娘から『どんな姿でも生きてほしい』と言われ、家族のために生きようと思えた」という想いは、場内を感動で包みました。その体験から「自分以外の誰か

のために生きる」ことが大事なのだと実感したと続けました。最後に「縁を大事に、絆を結んで、誰かを幸せにするために、そして成長していくことで、人生も会社も上手くいく」と結び、講演を終えました。



永年勤続表彰

毎年恒例の社員ふれあい会。山田専務は「縁あって仲間になった我々です。絆を深めて、皆で素晴らしい会社をつくりたい」と伝え、西京銀行から下関支店副支店長の坂本喜仁様による力強い音頭による乾杯で、笑顔と拍手に包まれる和やかな宴が始まりました。

- 30年 業務部 今福久美子さん
- 25年 警備部 出水 真さん
- 20年 総務部 藤永 由紀さん
- 15年 警備部 梅野 敦成さん
- 警備部 植田 健一さん
- 業務部 河村 美希さん
- 警備部 川田 正巳さん

表彰状と記念品が贈られると、会場全体から大きな拍手が贈られました。代表して今福久美子さんが謝辞に立ち、これまでの上司や仲間への感謝と共に歩んだ思い出を語りました。「楽しく業務に取り組めたのは周囲の支えのおかげ。今後も人との絆を大切に、みらいジャパンの繁栄に尽力したい」と力強く述べ、その言葉に再度大きな拍手が贈られました。



懇親会の様子

“笑い”で締めくくり

林兼産業株式会社 元社長 外部顧問 熊山忠和 様



最後は熊山顧問による「笑い三唱」で締めくくられました。
「笑うから元気になる、笑うから明るい未来がやってくる、笑うから楽しくなる」の掛け声に続き、全員で声を合わせて「わっはっはっは」と三度の笑いを唱和。
会場は一体感に包まれ、明るく前向きな空気の中で懇親会は幕を閉じました。





医療の「質」を支える、サマンサの協働力



当社サービスの導入イメージ / 病院様 Ver.

想像してみてください

警備

駐車場では、警備員が丁寧且ツキビキビと誘導。



受付

受付では、対話を通して患者様に安心感をお届け。



クラブ清掃

院内のいたる所で、かわいいユニフォームを身にまとった清掃スタッフが、出会うすべての方と笑顔で挨拶を交わし丁寧に対応。



テクノサービス

設備管理のスタッフが院内の心地よい環境を整えるべく注視。



コンシェルジュ

院内に入ると、コンシェルジュがホテル並みのハイサービスを接客でお困りごとに対応。



ナースエイド

病棟では、ナースエイドが手際よくサポートに入り、看護師様が本来取り組むべき専門性を活かした仕事に専念されている。



SPD

さらにバツヤ+ドでは、SPDが、薬品や物品を管理、廃棄を減らし病院の利益増に寄与していく。



- 病院様に提供できるサービス一覧
- ・コンシェルジュ
 - ・受付(入退院、健診センター)
 - ・クラーク
 - ・ナースエイド
 - ・リネン交換
 - ・電話交換
 - ・医療材料ピッキング
 - ・メッセージャー
 - ・日常清掃
 - ・定期清掃、臨時清掃
 - ・駐車場警備
 - ・施設警備
 - ・セーフティアテンダー
 - ・テクノサービス



ご利用様が受付で迷われていたり、車椅子での移動に困っておられたりする姿を院内で目にする事は少なくありません。手助けしたくても余裕がなく、病院としても何かスッキリとしないモヤモヤとした気持ちが残ってしまう。ご利用者様にとっても、しっかり対応してもらえないイライラから病院に対する不満が大きくなる。どちらにとっても良い環境とは言えません。サマンサジャパンは、そのような様々な「お困りごと」に寄り添い、ホスピタリティ溢れるサービスを提供し、病院を利用するご利用者様の安心感・満足度を高めるとともに、医療従事者の皆様が本来の業務に専念できる環境づくりを支援いたします。

Samansa Japan

病院を訪れる全ての方にとって、
安心できる空間が生まれます。

私たちはこれまで、ご契約先の病院様からのご依頼で15を超える様々な業務を請け負い、提供しています。

例えば、女性専用エリアに特化した、“警備+コンシェルジュ”のセーフティアテンダーや、“清掃業務+リネン交換”など、業務内容は病院様の「お困りごと」に合わせカスタムすることが可能です。

院内で資格を必要としない業務は、人間力向上教育・接客教育の行き届いたサマンサスタッフに任せることで、病院様は医療に専念できます。お互いが専門性を活かし協働することで、「ここに来れば心身ともに豊かに元気になる」そんな気持ちを地域に届けることができると確信しています。